2023年度　一般社団法人日本看護技術学会
第1回理事会　議事録

日　時：2023年9月19日（火）18：00～20：30
会　場：WEB会議システム（ZOOM）
出席者（オンライン）：理　事；角濱　春美（理事長）上野　栄一、大久保　暢子、佐伯　由香、
本庄　恵子、前田　ひとみ、水戸　優子、若村　智子
監　事；武田　利明、深井　喜代子
選挙管理委員会；佐々木　新介
第22回学術集会長　；矢野　里香
事務局；伊津野、中村

議　題；
<u>報告事項</u>
１．前回議事録の確認
2022年度第4回理事会（書面）議事録を確認し、異議なく承認された

２．第21回学術集会の件
前田大会長より資料に基づき、学術集会の開催報告があった
1）学術集会の進捗状況
①　協賛申込状況（9月19日時点）
共催セミナー・・・3社　展示・・・・・・・18社
②　事前登録状況（9月19日時点）
事前登録者数：289名(予定では400名)
③　予算
1,350万円の目標予算に対して現状700万
2）名誉会員に関して
学術集会時に名誉会員の川嶋みどり先生へのお弁当の準備と学術集会の参加費は本会にて負担するが、宿泊交通費は負担せず
3）各委員会のお弁当手配に関して
各委員会にて開催日時と人数を確定して、事務局へ連絡をすることとなった。現状は編集委員会と広報委員会の2つの委員会にて開催予定

３．第22回学術集会の件
矢野次期学術集会長より資料に基づき、学術集会の準備状況について報告された。
会　長：矢野　理香（北海道大学大学院保健科学研究院）
会　期：2024年10月26日(土)、27日(日)
場　所：札幌教育文化会館
テーマ：看護技術の哲学と実装

４．第 23 回学術集会の件

若村次次期学術集会長より資料に基づき、学術集会の準備状況について報告された

５．庶務報告

若村庶務担当理事より資料に基づき、2023 年 8 月 31 日現在の会員状況、会員数の年次推移が報告された。生年月日等不明者には事務局から連絡を取り、随時名簿情報を更新に努めていくこととなった。また利益相反の申告書類について、今年度該当者がいた場合、その提出状況を事務局より若村理事に報告することとなった

６．会員総会資料の件

角濱理事長より資料に基づき、会員総会の資料に関して変更点がないか確認があり、資料の内容について承認された。学術集会までに担当部分を確認して変更点があれば事務局に連絡することとなった

<u>審議事項</u>

７．各種委員会活動報告と審議事項

編集委員会（前田委員長）

前田委員長より資料に基づき 2023 年度活動進捗が提示された。本学会の倫理的配慮の規定について、倫理委員会の審査をうけていない投稿論文があり、倫理委員会の承認が必要か不必要を判定しにくい事例が発生している。そのため、倫理委員会で基準案を検討することになった。倫理委員会と協議の元、次回の理事会(2 月)にて再度審議をすることとなった。査読期間、査読マニュアル、交流セッションについての報告があった

研究活動推進委員会（水戸委員長）

水戸委員長より資料に基づき 2023 年度活動進捗が提示された。学術集会時の表彰の実施、学術集会優秀演題の選考、交流セッションの企画、2020、2021、2022 年度の研究助成成果、2024 年度の研究助成の募集開始の HP 掲載開始等の報告がされた。2024 年の 3 月には研究助成決定通知を出すことを目指す

技術成果検討委員会（大久保委員長）

大久保委員長より資料に基づき 2023 年度活動進捗が提示された。Q&A 冊子を全国医療施設へ配布することが報告された。審議事項として「グリセリン浣腸班」から「排便ケア(GE・摘便)班」への名称変更が承認された。またキャラバン隊の参加費を今後有償にすることを議論した結果、会計規定として検討することとなった。具体的な金額に関しては委員会で再度検討いただき 2 月の理事会にて審議していく。

本庄委員より資料に基づき看保連の新役員の一覧の報告があった

広報委員会（上野委員長）

上野委員長より資料に基づき 2023 年度活動進捗が提示された。学術集会時の様子の写真を広報委員会にて撮影・保存が出来ないかとの審議があった。撮影後データを保管しておき、使用時に許可が取れているのかを確認してから使用するようにしていくこととなった。また学術集会時に撮影する際は腕章をつけて撮影することとなった

倫理委員会（若村委員長）

若村委員長より資料に基づき 2023 年度活動進捗が提示された。交流セッションを計画予定していると報告があった。審議事項無し

選挙管理委員会

佐々木委員長より資料に基づき、2023 年度活動進捗が提示された。選挙名簿・被選挙名簿の提出があり、異議なく承認された。選挙投票率を高める施策として、選挙ポスターを作成し会員へ郵送する、学術集会時に掲示して呼びかける等の活動を行っていくと報告があった

８．入退会審査

若村庶務担当理事長より資料に基づき入会申込者 20 件､退会届提出者 3 件について説明があり、全員承認された

９.理事長報告／審議

1）選挙における理事数の決定について

理事数は 2023 年 3 月 26 日の理事会にて 3 名増(副理事長、編集委員会、研究活動推進委員会、各 1 名)と提案されていた。理事数は、提案どおり全会一致で承認された。よって 2023 年度の選挙にて理事数は 11 名となる

2）看護人間工学会・看護理工学会

6 月 10 日神戸にて看護理工学会総会が開催され、角濱理事長が参加し、本学会の紹介を実施。9 月 16 日名古屋にて看護人間工学会総会が開催され、角濱理事長が参加し、本学会の紹介を実施。本学会の総会にて合同セッションを開催し、水戸理事が代表となっている。水戸理事より「排泄ケア」を共通テーマとして各学会の特色を説明していくとの報告があった

10.監事からの意見

武田監事、深井監事にご意見を賜ったところ、「特になし」との回答であった

2023 年 10 月 3 日

議事録作成人：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（角濱　春美）

議事録署名人：

出席監事；＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（武田　利明）　（深井　喜代子）